

はたらくネット

企業で働く障害のある方や障害のある方を雇用している企業様の、「笑顔」とそれぞれの「想い」をお伝えします。

今回は、「株式会社デンコードー ケーズデンキ東仙台店」様をご紹介します。株式会社デンコードー ケーズデンキ東仙台店様は、2011年に開店しました。

現在、勤務する方の数はパート、アルバイトを含め約60名です。障害のある方は、現在3名勤務しています（精神障害者保健福祉手帳所持2名、療育手帳所持1名）。



ケーズデンキ東仙台店様外観

障害のある方を雇用している企業の方

株式会社デンコードー ケーズデンキ東仙台店 様
副店長 高橋 洋 様

<働くなかで大切にしていることは>



障がいがあるからといって、差別はしません。障がいのある・なしに関わらず、人には得意なこと、不得意なことがあると思います。障がい者としてではなく、一人の従業員として接するようにしています。また、「仕事がしたい」という気持ちが強いスタッフも多くいます。障がいがあることでそれが満たされず、もどかしい思いをしてきたのだと思います。その思いを汲めたらと思っています。

<障害のある方が働くことについて>

株式会社デンコードー 管理部
総務人事担当アドバイザー 田澤 昇 様



障がいによる特性と言われているものは、誰しも大なり小なり持っているものだと思います。また、他の方よりその部分が強く出ているのが障がいのある方だと思っています。その部分がうまく仕事とマッチすれば、その方が仕事をすることに繋がると思います。

ご自身でできていないと思うことでも、周りから見ればできていることもあります。自分できないと決めてしまわず、挑戦して頂きたいです。

(1) 障害のある方を雇用したきっかけは？

人事の担当者から提案があり、障がいのある方の職場実習を受け入れることになりました。実際に受け入れたことで、現場の認識と実際に働く障がいのある方の認識の違いがなくなったように思います。

(2) 障害のある方と働いていて、感じたことがあれば教えてください。

自分たちにはできないような作業を得意とする方がいらっしゃると分かりました。例えば、お店で回収している廃乾電池は、発火を防ぐため一つ一つ絶縁テープを貼り付ける必要があります。こうした単純な反復作業も、黙々とやってもらえます。覚えるまでに時間はかかりますが、覚えてからはずっと続けてくれます。向上心のある方も多く、「ほかに仕事は無いですか？」など前向きな反応を貰えるのが嬉しいです。

(3) 障害のある方と働く上で配慮した点は？

しっかり指示することです。何度も、きちんと分かるまで教えます。また、急がせないことも大事にしています。急ぐと、焦ってパニックになってしまうことがありました。期日のある仕事は、余裕をもって伝えるようにしています。仕事に慣れてくると細かな指示が無くても通じるようになりましたが、初めのうちは優先順位を明確にすることを心がけていました。

(4) 業務の切り出しはどうしていますか？

以前は、障がいのある方がどんな仕事ができるかイメージできていませんでした。でも、職場実習を受け入れたり実際に働いてもらったりするなかで、できる作業が分かってきました。他のスタッフからも「この作業はできるのではないか」と意見が上がってくるようになり、職場全体で切り出しができるようになりました。

(5) 支援機関と関わるメリットは？

障がいのある方を雇用する前に、その方との接し方のポイントや配慮点などのアドバイスをもらうことができます。また、会社に言いづらいような本人の不安を聞いて頂いたり、休んだ時のフォローをしてもらっています。今でも数か月に一度お店に来てもらい、面談の時間を取っています。何かあった時に相談できる場所があるというのは良いですね。

(6) 障害者雇用して良かったことは？

障がいのある方が身近になりました。耳の聞こえない方には筆談で対応するなどの行動が、自然にできるようになりました。接客の面でもプラスになっています。

～企業から一言メッセージ～

○ 就職を目指す方へ

不安な気持ちが強いと思いますが、「仕事がしたい」という思いを、ぜひ企業側に伝えて頂きたいです。その思いから、体験に繋がったり採用に繋がるのだと思います。

○ 企業の方へ

障がいのある方が仕事を求めているということを理解して頂き、体験から受け入れしてほしいです。

○ 就労を支援している方へ

様々な企業が、まだ障がい者雇用について知らないでいます。ぜひ、支援者の皆さんからも発信して頂ければと思います。

ケースデンキ東仙台様で仕事をしている障害のある方

<あなたにとってはたらくとは？>
「家族のため」



企業名 ケーズデンキ東仙台店 様
氏名 池田 佳樹 様

<あなたにとってはたらくとは？>
「生きがい」



企業名 ケーズデンキ東仙台店 様
氏名 T 様

○ 働くことになった経緯を教えてください。

Tさん) 通所していた就労移行支援事業所(※)から、ケースデンキでの職場実習をしてみないかと言われました。実習のあと、採用して頂きました。

池田さん) 特別支援学校のと看、職場体験に来ました。働き始めてから、今年で4年になります。

(※) 就労移行支援事業所…就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う福祉サービス事業所

○ 働いていて困ったことや大変だったことはありますか？

Tさん) 初めてのことがばかりだったので、はじめは全て大変でした。分からないことがあった時には、周りの方に聞きながら仕事をしています。

池田さん) はじめは、品出し中にお客様から質問されるのが大変でした。分からないときは、他のスタッフを呼んで対応してもらっています。慣れるまでは、品出しも他のスタッフについてもらえたので良かったです。



個人情報のシュレッダー作業



バックヤードでの品出しの準備

○ 働いていてよかったことは？

Tさん) 社会とのつながりが感じられるところです。初めてのお給料で、家族を外食に連れて行きました。

池田さん) お客様から「ありがとう」「助かるよ」と言われるところです。

○ これからの目標は？

Tさん) 作業のスピードアップをしたいです。

池田さん) 倉庫の人たちの助けになりたいです。

仙台市障害者就労支援センターの愛称が決定しました！

「はたらポート仙台」

この度、当センターがよりいっそう市民の皆様親しんでいただき、利用しやすい施設となるように、設置主幹である仙台市障害企画課が愛称を募集いたしました。総数337件もの応募をいただき、当センターの愛称が「はたらポート仙台」となりました。

「はたらポート仙台」の「ポート」には、仙台市精神保健福祉総合センター「はあとぽーと仙台」や仙台市障害者総合支援センター「ウェルポートせんだい」と同じように、仙台市が設置する相談支援機関としての統一感と存在感を出したいという想い、「ポート」が港としての意味を持つことから、働きたい方の船出を応援したいという想い、「ラポート」という言葉が信頼関係を築くという意味を持つことから、利用する方々から信頼を得られるような施設にしたいといった様々な想いが込められています。

発 行：仙台市障害者就労支援センター（指定管理者：社会福祉法人仙台市障害者福祉協会）

住 所：仙台市泉区泉中央2丁目1-1 泉区役所東庁舎5階

電 話：022-772-5517 FAX：022-772-5519

Eメール：info@sendai-wsc.jp ホームページ：http://www.sendai-wsc.jp/